

AOC

web Export



webブラウザで簡単に画像CDの作成やnetPDIを使った画像・検査結果・処方の送信ができます。患者IDなどの検索条件で検査を検索し、送りたい検査やシリーズにチェックを付けるだけ。操作も簡単です。

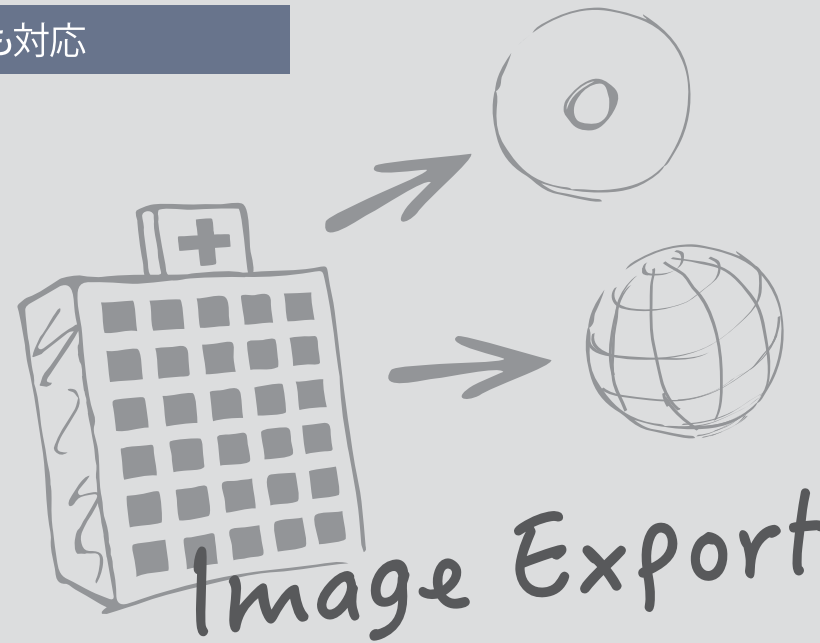
接続図



webブラウザによる画像エクスポートシステム

AOC web Export

CDはもちろん、netPDIにも対応



1

シンプルで使いやすいインターフェイス

webブラウザを使った画面や操作はとてもシンプル。必要な機能がすぐに使えます。メディアに書き出す場合はデータ量に応じてCD/DVDを選択したり、複数枚に分けるのもすべて自動です。

2

ユーザー管理と作成履歴の保存

web Exportを使うにはユーザー名とパスワードによるログインが必要です。すべてのエクスポート操作はユーザー名、時刻、内容などがログに記録されます。ユーザー名とパスワードは他の院内システムと共通化できます。

3

エクスポートオーダーを使った自動作成

RISで発行したエクスポート (CD作成) オーダーを受けて、自動的にエクスポートすることもできます。

4

電子カルテとの連携

電子カルテと連携すると、カルテのボタンをクリックするだけで検査一覧を検索・表示できます。

5

SS-MIXデータに対応

PACSのDICOM画像だけでなく、SS-MIXストレージの検査結果や処方のデータを一緒にエクスポートすることもできます。

6

オンライン交換のサポート

CD/DVDなどのメディアだけでなく、netPDIを利用したエクスポートにも対応します。

エクスポートの流れ



患者IDなどの検索条件を入力し「検索」ボタンをクリックします。



検索結果が表示されるので、送りたい検査にチェックを付けます。



「開始」ボタンをクリックします。



CD引換票またはnetPDIのトークンシートが印刷されます。

おもな機能

webブラウザ*でのPDI出力 (CD/DVDまたはnetPDI) / PDI出力伝票発行 / URL連携 / PDI再出力 / 伝票再発行 / ユーザー認証 / ユーザー管理 / ユーザーグループごとの権限設定 / ユーザー情報の自動インポート / ユーザー権限のスケジューリング管理 / ディスクログビューアー / netPDIトークンシートの発行 (オプション)

*対応webブラウザ: Internet Explorer 8 - 11